

第 33 回川西市展

入選目録

特別賞 青木賞（市長賞）



絵画（U18）の部

「風を切って2024」

武智 朱音（猪名川町）

特別賞 平通賞（議長賞）

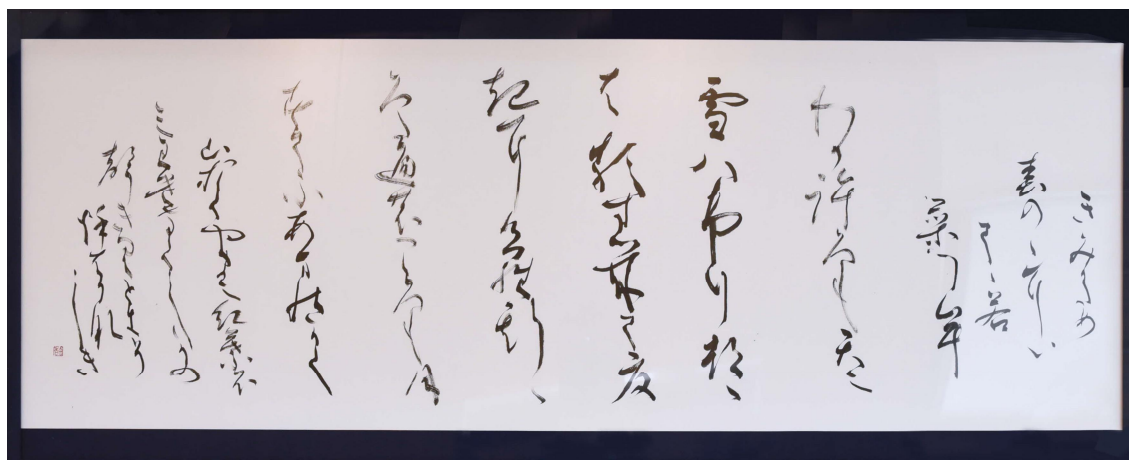


洋画の部

「早春コンサート」

野村 和男（猪名川町）

特別賞 川西市美術協会賞



書の部

「きみがため」

永田 由香（川西市）

□ 部 門

一般部門 洋画、日本画、書、彫刻・立体造形、工芸、写真、現代美術

U18部門 絵画、書、写真

□ 入選作品 令和7年1月28日（火）～2月1日（土）

展示期間 午前10時～午後5時（最終日は午後3時まで）



市ホームページはこちらから

主催 川西市

■洋画の部

一席 早春コンサート 野村 和男



二席 台場クヌギII 明渡 康子

三席 大丈夫か災害 稲垣 泰造

奨励賞 平和の丘へ 河野 満

奨励賞 雪の晴間 安久 進子

奨励賞 発展の勢い 嘉祥寺 孝

奨励賞 静寂の時 高須 栄一

奨励賞 生きることの選べない時代の
若者達 無言館 松井 靖

奨励賞 日向のかおり 渡辺 良子

奨励賞 梅田駅改札口 安田 賢二

奨励賞 パレンパンの水上マーケット 濱田 武文

奨励賞 庭 佐藤 晴奈

入選 秋の大阪城 岡島 信博

入選 人力車 東 幸芳

入選 青いセーターの人 山岸 和宏

入選 スイモン フウケイ タンバササヤマ
水門のある風景 (丹波篠山) 小原 克子

入選 北の大地からの便り 井上 節生

入選 カレノ イロ フウケイ
枯野の色の風景 小畑 利宏

入選 大地に還る 野々山 蓉子

入選 雑草の花 川島 千香子

入選 鳥居 横川 武利

入選 スリランカの僧侶 久田 泰子

入選 我が内なる杉小立 杉原 精二

入選 古い館 vieux manoir 田中 耕治

入選 能勢電平野車庫 川島 實

入選 猪名川旧川辺酒造 畑 弘子

入選 神戸から能登へ 松本 敏子

入選 ビッグハープと桜並木 高井 勝

入選 ピンクのブラウス 広瀬 敬三

入選 大イチョウ 倉本 晋匡

入選 ルン シニセ
暖簾のある老舗 赤尾 正武

入選 赤橋通行止 森本 功

入選 柿 六車 雅則

入選 イタリアンを楽しむ 福田 文明

入選 古代からのメッセージ 四方 豊

入選 Street 岡山 昌弘

入選 ひとやすみ 河合 和彦

入選 猪名川の早春 入江 和子

入選 友ガ島 中尾 昇二

入選 新猪名川大橋を望む 馬木 紀美子

入選 猪名川溪流 山本 正信

入選 収穫 鶴田 政子

入選 エヒメ ニブカワキョウコク
愛媛鈍川峡谷 山中 秀夫

講評 橋本 紀夫・古野 恵美子

今年度は、出品点数も増え充実した内容になりました。出品者の皆様も、手慣れた作品が数多くありました。また、絵の中に自分を投影する姿勢が、我々に充分伝わって来ました。次年度も次なる期待を抱かせていただきました。

一席の「早春コンサート」は、人形と覚しき登場人物が窓辺で様々に楽器を演奏している様子が楽しく描かれた作品です。しっかりと重ねられた絵の具の層が力強く、人形の色彩と明るく表現された背景との対比も印象的で、舞台を観ている様な楽しさを感じる一枚です。

二席の「台場クヌギII」は、冬枯れの木立ちとその下に積もる枯れ葉を克明にとらえ、木立のつながりが、枝が大空へと抜けていく逆三角形の構成が、面白い作品です。色も重厚感があり冬の厳しさを予感させるところが良いと思いました。

三席の「大丈夫か災害」は、畑の傍にある水門でしょうか。上から見下ろす構図が印象的な一枚です。コンクリートや鉄の古びた質感や草の表情など細部まで作者の視線が感じられます。光と影のコントラストがタイトルにつながる画面の緊張感を形づくっているように感じました。

■日本画の部

一席 食べ盛り

岸本 和之



二席 とともに

金森 舞子

三席 アムステルダム
の涙雨

増田 史男

奨励賞 藤の花

那須 徳子

奨励賞 ドウ
葡萄

植田 凱夫

入選 夕焼け

柴垣 傳子

入選 絵を書く人

竹澤 弘美

入選 春隣

道畑 常美

入選 立葵

山本 富美子

入選 プレッツェルをいかが？

植田 公子

入選 癒しの香り

小山田 明美

入選 イワネ シボ ツバキ
岩根絞り 椿

板野 英子

入選 緑萌ゆ

楠井 加奈

入選 牡丹

清田 裕子

講評 井上 美紀・田中達也

応募数の減少が非常に残念でしたが、その反面、旧来の日本画の表現・技法にとどまらない新しい試みのある作品が出品されていて良かったです。写生や画材の扱い等の基礎は言うまでもなく「自分の世界観」「何を表現したいか」が最も大切です。既成概念にとらわれることなく新しい世界を切り開いていって下さい。

一席の「食べ盛り」は、茶褐色の色感が全体の空気をより深くさせている。画面構成もおもしろく、こちらに目を向けるカメの眼差しが言葉をもたず訴えかけてくるようで非常に考えさせられ、惹きつけられる秀作です。

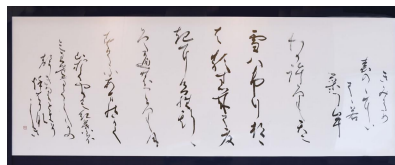
二席の「ともに」は、二羽の鷹が同じ方向を向き飛ぶ姿に未来への希望を感じる作品です。丁寧なマチエールや箔を焼く技法をとり入れたり非常に技術力の高いものとなっています。一つ一つの作業の丁寧さが作品を高い水準へと導くすばらしい作品です。

三席の「アムステルダム
の涙雨」は、アムステルダムの街を家の中から見ている構図でしっとりとした作品です。窓にしたたる雨の表現が効果的に使われていて、ノスタルジックな世界が広がっています。手前に立つ女性の青い帽子が全体の淡い空間に華を添えています。

■書の部

一席 きみがため

永田 由香



二席 西行のうた

小畑 佳子

三席 カトウシ
賈島詩

永井 紅丘

奨励賞 この街は私の宝物

川口 登美子

奨励賞 芭蕉の句

小田 美夕紀

奨励賞 神獣

清水 和義

入選 藤原関雄の歌（古今和歌集より）

下村 友樹

入選 セイワダイオウカ
清和台櫻花

鍋倉 京子

入選 フシテキクソキョウゴトウノアメソウトウバシ
臥間疎響梧桐雨（蘇東坡詩）

米田 由美

入選 夕陽

酒井 白鷺

入選 トミネ コウゲン ススキ
砥峰高原の芒

ツカハシ カズ
高橋 鮎

入選 チュウジン
鑄人

中島 久夫

（次頁に続く）

■書の部（続き）

入選	百人一首	中元	みはる
入選	清閑	森	靖子
入選	<small>ヒトリケイテイザンニザス リハク</small> 獨坐敬亭山（李白）	滝	利喜
入選	<small>サエキノリカ</small> 左掖梨花	山本	和花
入選	<small>シンジヨ テッセキ</small> 心如鐵石	畑中	義以
入選	七言二句	堀口	千恵子
入選	<small>ウインク</small> 笑	いそべ	ゆうこ

講評 和田 英翠・穴澤 暎煌

今年も多彩な作品が並び、また皆さんの練習量がうかがえ楽しい審査になりました。一席の仮名作品「きみがため」は、よく書かれているがメリハリがあれば華やかな字になる。二席の「西行のうた」は一席と紙一重です。紙をうまく使っている。三席の「買島詩」は、もう少し字に対して墨の入れ方を工夫してほしい。全体に同じような字幅になっているために強弱があつたらもっと良くなる。今後の出品作品を期待している。奨励賞三点は、作品に工夫がみられたので賞にふさわしい作品である。公募の作品をたくさん出品することを期待しています。

■彫刻・立体造形

一席 HAPPY MONSTER SANIRUN 池田 くみか



二席	<small>異説『ドン・キホーテ』 大天使ミゲルとしてのセルバンテス</small>	安田	正裕
三席	兄弟	友國	華
奨励賞	その視線の先・・・	森上	恵子
奨励賞	背番号3	河野	美奈
入選	湖底の舞（カイツブリ）	竹内	清
入選	日本一	中川	良子
入選	<small>木工作品、日本のチョウチョウ</small>	横山	豊
入選	<small>ジソウ ポサツ ハンカ ソウ</small> 地藏菩薩半跏像	川島	寛
入選	ランプ	井上	義和
入選	ちょっとお先に完成	中本	通子
入選	<small>動く地層 （大震災後も夜が明けるNo.117）</small>	シュウ	

講評 長野 久人・中西 學

本入選作は制作者の特別な心情が、木彫、塑像、ミックスメディアなどの様々な手法によって、其々の世界観が創出されています。また毎年、出品者の方々の主題と表現が多様化していると言えます。

一席のオリジナルキャラクター「HAPPY MONSTER SANIRUN」は、カラフルな混成粘土を用いて、細部にわたり妥協せずに制作されています。明るくて楽しい独創性に溢れた造形作品です。

二席の「ドン・キホーテ」大天使ミゲルとしてのセルバンテスは、セルバンテスの小説を背景とした造形になっている。作者の手慣れたダンボールの造形物は、足元にある頭蓋骨から視点を上に辿っていくとセバスチャンの仰ぎ見る天空と一致する。

三席の「兄弟」は猫の兄弟が寄り添って眠っている、黒陶の作品である。一塊の二匹の猫の存在感は、場の空気を変えるほど圧倒的である。彫刻の原点である素材と空間の融合がそこにある。

■工芸の部

一席 猫またの親分 乾 恵



二席 キジトラ 池崎 凌一

三席 ヒヤクマス イチジク
百升無花果 真柄 あゆみ

奨励賞 行灯（室内用） 辻 福夫

奨励賞 望郷 久保田 真喜子

奨励賞 シュウトザル
舅猿 清水 和義

入選 ハンニヤハラ ミッタ シンキョウ
般若波羅密多心經 大橋 美知子

入選 アナガマハイユ イチリンサ
穴窯灰釉一輪挿し 山崎 茂久

入選 ハイデ
這出 久保田 正和

入選 フンダイハツネ ト ギダシタカマキエ
文台初音研出高蒔絵 池之浦 大起

入選 つまみ細工 鷹野 貴子

入選 花瓶 牛谷 正員

入選 樹幹 白石 千鶴子

入選 般若 森島 紀明

入選 古代魚の壺 大井 良和

入選 放つ 前田 悦子

入選 三姉妹 河村 壮一郎

入選 老戦士，集う。 山下 勝

講評 堀内 晴美・森田 隆司・後藤 雅宏

コロナ禍も少しずつ収束し、社会全体が元
気を取り戻しつつある中、力強い作品が出
品されていました。それに対し審査も真摯に
向かい合いました。次回もすばらしい作品
が出品される事を願います。

一席「猫のまた親分」

とにかく元気で明るく楽しい作品。生き生き
とした表情の生物達の姿・形が作者の想い
を表しているのでしょう

二席の「キジトラ」は猫の体表を様々な種類
の木、そのものの色を木目をういて大胆に
構成しつつ、僅か1mm幅のひげに至るまで
丁寧に仕上げられている。大好きな猫をモ
チーフに選んだ作者が楽しみながら制作さ
れている様子が伝わる素晴らしい作品です。
三席の「百升無花果」は新しい独自の表現
方法に加え、それ以上に素晴らしいのは無
花果をあらゆる角度から観察写生され切型
のデザインに上手く昇華されていて無花果
への深い想いを感じさせる佳い作品となっ
ています。

■写真の部

一席 カワセミ 長井 伸也



二席 熊野火祭り 岡村 佳代子

三席 時間旅行 清水 晴夫

奨励賞 流れ星に願いを 動道 千歳

奨励賞 水面に織る錦 成平 博

奨励賞 私の街 澁谷 由紀子

奨励賞 さざ波 井関 静雄

奨励賞 線上の釣人 道田 泰平

奨励賞 それぞれの願い 光武 仙子

奨励賞 シュウレイ
秋麗 波多野 博

奨励賞 狩り 河野 秀樹

奨励賞 木洩れ日 田中 富士夫

(次頁に続く)

■写真の部（つづき）

奨励賞	ニョキッ！	清水	和男
奨励賞	朝ぼらけ	栗田	富美栄
奨励賞	聖夜	桑原	実
奨励賞	山里に暮らす	芦田	芳郎
奨励賞	ロウバイに向かって	梅原	昇
奨励賞	冬隣	齊藤	俊雄
奨励賞	ケ アラン 気嵐	宇田川	洋二
奨励賞	フユビ 冬陽	桑原	善孝
入選	冬模様	松本	進
入選	黄昏	春元	昌三
入選	ウゴメ ミナモ 蠢く水面	村上	よしみ
入選	マテ貝採り	合田	伸一
入選	水中ダンスショウ	遠藤	堅衛
入選	願い	伊藤	弓佳
入選	春の予感	長沼	利彦
入選	少年	石原	修
入選	2 5 or 6 to nine	阿部	信夫
入選	天使の梯子	宮下	忠明
入選	イロハタ 囲炉裏端	菅野	みね子
入選	春風に乗って	田中	善
入選	白装束の練り	田中	孝
入選	過ぎ去りし春	伊藤	治男
入選	雨に歩けば	薄井	研司
入選	春一番	岡本	武久
入選	プラネタリウム	前田	悦二
入選	チョット失礼！！食事中	亀田	政彰
入選	分断参道	太田	茂範
入選	吊るし傘	天井	博章
入選	ちょっと失敬	西村	謙之助
入選	勇者の洗礼	数藤	守治
入選	スマイルクイーン	日夏	智子
入選	朝陽降る	田中	諭
入選	海城の夕暮	田中	美和
入選	観 客	名越	章
入選	怪鳥の巣	清水	和義

入選	休日	池永	勉
入選	あと一步	矢敷	雅子
入選	幻	池本	泰博
入選	寒空の冷水	上月	正美
入選	降臨	桑原	弘子
入選	古民家のぬくもり	前田	安活
入選	見上げる	牧	孝三
入選	カタン・コットン	岡野	孝子
入選	ポートライナー	柏木	浩
入選	元気でんこ盛り	和田	國雄
入選	炎の祭典	鈴木	節子
入選	秋光	常木	良一
入選	枝垂れ梅爛漫	生駒	健一
入選	疾走	玉置	喜章
入選	秋散策	松尾	隆子
入選	ガレージ朝陽	中垣	芳樹
入選	根羽村のしだれ柿	木下	朱美

講評 森井 禎紹・森 誠

出品作品は多種多様な被写体でしたが、写真内容としてはやや新鮮さに乏しかった。審査基準としては①被写体の良し悪し②構図、構成③シャッターチャンス④プリントの仕上げ等々を重視しながら審査しました。

一席「カワセミ」
カワセミ撮影に手馴れた作者でしょうか。捕食の瞬時をストロボ光を駆使して最高のチャンスを捉えられました。

二席「熊野火祭」
那智の火祭りのひとコマですが、大胆な切り取りで一層迫力が出ました。画面を二分して燃え盛る炎、熱さを我慢する形相等最大の見せ場がなせています。

三席「時間旅行」
色の世界と奥行きのある四角い空間に引き込まれ、静かな時間が感じられる作品となっています。構図的にもしっかりと安定した作品により、車窓の流れが際立っています。見る側へも「時間旅行」のドラマが始まりそうです。

■現代美術の部

一席 ラスパック 吉倉 稲穂



二席 青春を生きる炎 松浦 良明

三席 流転の海 畠山 忠美

奨励賞 impression 西川 輝彦

奨励賞 CONNECTION 簗原 侃子

奨励賞 The くびれ 中島 広子

入選 希望の破片 鈴木 基光

入選 光の空間移動 平井 恵子

入選 ボンボヤージュ 柚木 美恵子

入選 Last Piece 蛭 浦辺 民子

入選 宙に飛ぶ 星山 ふみ子

入選 どの船に乗るか 藪内 舞

入選 秋空を見つめる君 谷隅 英樹

入選 心象風景 青 納 弘造

入選 晴れたら良いね！ 竹中 豊秋

入選 CIRCLE 南 花子

入選 変わり行く街 藤原 ゆかり

入選 ^{ヒコバシ ミナミヅメ ゲンカク} 肥後橋南詰の幻覚 柏木 浩

入選 隠者の箱庭 塚本 秀之

入選 月光 梁 梨純

講評 神野 翼・元永 紅子

最近では現代美術とは何物であるのだろうか
かと考える事が多いのであるが、物質的な
作品とそれについての言説が伴うものが芸
術表現のついては現代美術の根幹である
と思うに至るに今回の作品たちは、作家の眼
から見た今の世相を作家自身の言葉すな
わち作品として表現していると感じました。
日々目に現れる事柄を瑣末な物から肝
賢な物まで飲み込んで芸術作品を創造する
力として、これからの時代の美術を作り出
して頂きたいものです。

一席の「ラスパック」は、色々な素材を貼り合
わせて構成されていますが素材の重ね具合、
色の統一感、作品の大きさなどのバランスが
良く、目を引く作品となりました。

二席の「青春を生きる炎」は、絵具のたらし
込みという偶然性のある技法でありながら、
作品に向き合う姿勢と意気込みがうまく表現
出来ていたと思います。

三席の「流転の海」は、現実の世界のさらに
奥深くに内包された千変万化の事象を表層
に浮かび上がらせるかのような豊かな表情
を見る事が出来る美しい作品です。裂かれ
た表面からわずかに覗くことのできる内側は
芸術家ルチオ・フォンタナ的空間概念を想
起させるものである。と言うと些か言い過ぎ
な気もしますが、その大きなキャンパスから
わずかに覗く隙間が様々な想像を膨らませ
る見る者の目を楽しませる作品になっていま
す。

■ 絵画 (U18) の部

一席 風を切って 2024 武智 朱音



二席 海のなかまたち 荒木 佑仁

三席 To be natural 浅野 滯

入選 感情 松岡 想

入選 母なる海 齋藤 莉亜

入選 狐 宝住 碧

入選 孔雀 橋本 楓斗

入選 枷 井上 涼太

入選 孤人 志村 唯斗

入選 窓の外 金 ジニ

入選 月下美人 中西 媛菜

講評 古野 恵美子・橋本 紀夫

昨年と比べて応募点数も増え、表現の幅も広がり嬉しくも悩ましい審査となりました。これからも若い世代の方の様々なジャンルの絵画作品を期待したいと思います。

一席の「かぜをきって」はバイクに心惹かれる若者の心意気を感じる作品です。風の描き方がユニークです。色相いも、さわやかで見ると人の心を清めてくれています。バイクの細部にこだわらず、格子で分割し彩色する方法も楽しいです。次年度もまた、バイクの作品で我々を楽しませて下さい。

二席の「海のなかまたち」は、紙にペンと絵の具で描かれた作品です。様々な層に塗り分けられた魚や海底生物達が、時には並んで時には自由に動きまわって描かれており、そのリズムと密度に心地良さを感じました。手仕事を重ねていく事の力強さが魅力の一枚です。

三席の「To be natural」は南の島のカーニバル、サーカスの一場面、など様々な見え方が見る人を楽しませてくれます。左右対称の構成が絵をどっしりとさせ、太陽・星などが目線を動かしてくれます。完成度が高いのでこの先、どんな変化を見せて頂けるのが楽しみです。

■ 写真 (U18) の部

一席 秋の京都 四宮 凧紗



二席 風雲 山口 隼人

講評 森井 慎紹・森 誠

一席「秋の京都」

五重塔を中心に秋彩の京の美しさを表現されていました。ライトアップによって不要な被写体が除外され一層狙いが的確になりました。

二席「風雲」

「風雲」とのタイトル。青空に白い雲が力強く、エネルギーを産む白い風車がインパクトのある心地よい作品になっています。もう少し空を広く入れるか、時間を変える事により一層、「風雲」を感じられそうです。

◆ 各部門審査員 ◆

(順不同、敬称略)

<洋画・絵画>

橋本 紀夫・古野 恵美子

<工芸>

後藤 雅宏・堀内 晴美・森田 隆司

<日本画>

井上 美紀・田中 達也

<写真>

森井 禎紹・森 誠

<書>

和田 英翠・穴澤 暎煌

<現代美術>

神野 翼・元永 紅子

<彫刻・立体造形>

長野 久人・中西 學

◆ 特別賞審査員 ◆

川西市長

越田 謙治郎

川西市議会 議長

岡 留美

川西市美術協会会長 鳥居 夔

(公財)宝塚市文化財団 理事 大野 良平

川西市市民環境部長 岡本 匠

◆ 特別賞について ◆

特別賞の青木賞、平通賞は、昭和を舞台に活躍された川西ゆかりの芸術家に因んで名づけられました。

青木賞は、青木大乘（あおき だいじょう）画伯の名前をいただきました。青木画伯は、明治24年大阪に生まれ、新燈社洋画研究所、卯木に大日美術院を開き、洋画から日本画へと世界を広げました。戦後、川西に移り住んで創作活動を続け、昭和54年に亡くなりました。

平通賞は、平通武男（ひらどおり たけお）画伯に因んでいます。平通画伯は明治40年大阪に生まれ、新燈社にて青木大乘画伯に師事。東光会審査員から日展審査員へと洋画の世界で活躍を続け、戦後は川西に住まわれ、日展参与とされた後、平成3年に亡くなりました。

両画伯のご遺族により、川西市に青木大乘画161点、平通武男画146点の絵画が寄付され、川西市郷土館内に両画伯の記念館「ミュージーゼ レスポアール」が平成7年に開館し、両画伯の絵画を鑑賞できます。

また、第25回川西市展時に川西市美術協会賞を新設し、青木賞、平通賞と同じく一席の作品の中から選出しています。

◆ 第33回川西市展応募状況等 ◆

□ 一般部門

部 門	出品点数	入選点数	入賞点数
洋 画	53	32	12
日本画	14	9	5
書	19	13	6
彫刻・立体造形	12	7	5
工 芸	18	12	6
写 真	107	44	20
現代美術	20	14	6

□ U18部門

部 門	出品点数	入選点数	入賞点数
絵 画	11	8	3
書	-	-	-
写 真	2	-	2
<hr/>			
合 計	256	139	65